

別記様式（第6条関係）

令和3年度第1回狭山市労働福祉審議会会議録

開催日時 令和4年2月24日（木）～令和4年3月7日（月）
開催方法 書面開催（新型コロナウイルス感染症拡大のため）
出席者 沼澤委員、西堀委員、肥沼委員、吉田委員、佐藤委員、鈴木委員、小林委員
（提出者） 石田委員、中野委員、加藤委員
事務局 産業振興課

議 題

議題1 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う労働施策等について（報告）

意見等

- ・（委員） 2020年当時はコロナウイルス感染拡大がこれほど長い期間続くとは予想されていなかったもので、例えば雇用調整助成金では、支給額は倍増されましたし、申請も非常に容易になりました。いわば「大盤振舞」感がありました。今後は各企業の存続を守りつつ、一方財源をにらみつつという事がより一層重要になるのではと思います。増々すばらしい施策をよろしくお願いいたします。
- ・（委員） 助成金の申請支援策は有意義な施策と思います。
給付事業も必要と思うが、ポストコロナに向け、事業やビジネスモデルの転換をしていく支援策に力を入れていくとよいと思います。
- ・（委員） 今後も雇用調整助成金に係る無料個別相談や事業者応援金の給付など支援を必要とされている方々に広く利用いただけるような取り組みを期待します。
- ・（委員） 1. 無料相談の実施はとても良かったと思います。
2. 事業者応援金は、回数も金額も満足のいくものではないかも知れませんが、「助かったよ」という声も聞いており（限られた市の予算からも支出されているのか不明ですが）事業者を励ますものになったことは確かです。さらに国に対して内容の充実を要請していただきたいと思います。
- ・（委員） 10万円という金額が妥当であったかは甚だ疑問は残ります。2億6650万円でどれだけの企業を救えたのか、給付がないよりは良いかと思いますが一律は有効的な給付の形であるのか課題だと思います。
- ・（委員） 事業者応援金についてはコロナ化が終息するまで継続していただけるのか。
- ・（事務局） 事業者応援金は国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用したものであるため、引き続き国の動向等を注視し、支援策等を検討してまいります。

- ・（委員） 支援を1事業でも受けられる様、引き続きPRの強化をお願い致します。
- ・（委員） 2年以上続く新型コロナウイルスの影響で、世界的に原油の価格高騰が続き特に地元の中小企業の影響は経営面において非常に厳しいものがあります。こうした状況下ですので、中小企業に対する援助・助成をお願いします。

議題2 令和2年度労働行政の概要について（報告）

意見等

- ・（委員） （1）に関連することですが、私自身、狭山商工会議所で行われた助成金相談員をつとめた事がありました。 「緊急雇用安定助成金」の申請希望の小売店、飲食店が主でしたが、必要な労働保険を無視している事業者が多かったです。職種上アルバイトやパートの従業員さんが多いのですが、労災保険の保険関係も成立しておらず、幸い商工会議所の方々が手続きの手助けをしてくださいましたが、事業主さんに、保険の必要性を周知してほしいと思います。法律を遵守してよい職場環境を作って欲しいです。
- ・（委員） 令和2年度の活動についてご報告ありがとうございます。狭山市の就労の活性化につながる活動と感じました。
- ・（委員） コロナの影響で労働継続が難しい方が多くおられると感じます。引き続き感染拡大に配慮し、支援をお願いします。
- ・（委員） 若者サポートステーションの相談件数がコロナの影響もあるがコロナ前より1/4程度になっている。何かコロナ以前に戻すような取り組みを検討されているのか？
- ・（事務局） 令和2年4月以降、感染対策として若者サポートステーションのパソコン利用台数の制限を行っているため件数が減少しています。同施設内にあるふるさとハローワークやハローワーク所沢と連携し、周知を行うことで、利用者数を増やす取り組みを行っているところです。
- ・（委員） 就労支援事業において動員数が少ないように思います。
- ・（委員） 多方面にわたる事業があり、利用数に多少はありますが、それぞれが利用者にとって必要とされているものだと読み取れました。そんな中で「緊急失業対策資金貸付事業」の利用が少ないのは、周知されていないのか、必要とする対象者がいないのか不思議に感じました。他の項目のように相談件数が載っている方が、わかりやすかったかもしれません。
- ・（事務局） コロナ禍での失業者に対する貸し付けにつきましては、社会福祉協議会で実施している生活福祉資金貸付制度の方が迅速性があり、多くの方が利用されたものと考えております。当事業につきましては、ホームページ等により一層の周知を図ってまいります。

その他意見等

- ・（委員） コロナはいつ終焉を迎えるかわかりませんが、仮に完全には終わらなくても感染しにくい又、致死率・重症化率が著しく下がれば、社会、経済活動が盛んになるでしょう。そうなったときの人手不足等（老人施設・飲食店・小売業）に

備えなくてはならないと思います。外国人労働者のことも考えるべきではないかとも思います。今、日本は外国人労働者にあまり人気はないようですが、狭山市を魅力的な市にしてレベルの高い外国人労働者を呼んで欲しいです。

- ・（委員） 労働施策及び労働行政の概要では、国の新型コロナウイルス感染症関連の施策・助成金の説明・相談の実績が主に記載されているが、県で行っている施策助成金（例：小学校休業等対応助成金等）の説明・相談実績及び使用実績などはあるのか？また周知方法はどのようになっているのか教えていただきたい。

- ・（事務局） 労働施策及び労働行政の概要につきましては、国や県等が実施する施策の説明ではなく、市が実施した施策についての報告となりますので、国や県の実績等につきましてはわかりかねます。

なお、小学校休業等対応助成金につきましては、市のホームページや一斉メール配信システムを活用し、小中学生の保護者等へ周知を行うと共に、狭山工業会、川越狭山工業会の会員企業へも周知を行い、更には狭山商工会議所が発行する会員向け情報誌により約 2,200 の会員事業者へ周知を行いました。

- ・（委員） 新型コロナの影響で本年も書面開催となり非常に残念です。コロナが早く収束に向かい通常開催が行えるよう、心よりお祈り申し上げます。
- ・（委員） 一度も対面で労働福祉について、議論できないのが残念です。何らかの形で会議ができることを希望します。
- ・（委員） 「新型コロナウイルス」との闘いは、行政にとっても計り知れない大きな負担となっていると思います。日々のご健闘に感謝いたします。私たちも「コロナウイルスとの共存」を念頭に置き生活全般を見直す必要があるのだと思います。まだまだ模索中ですが、私たちの英知を集めて乗り越えていきましょう。